

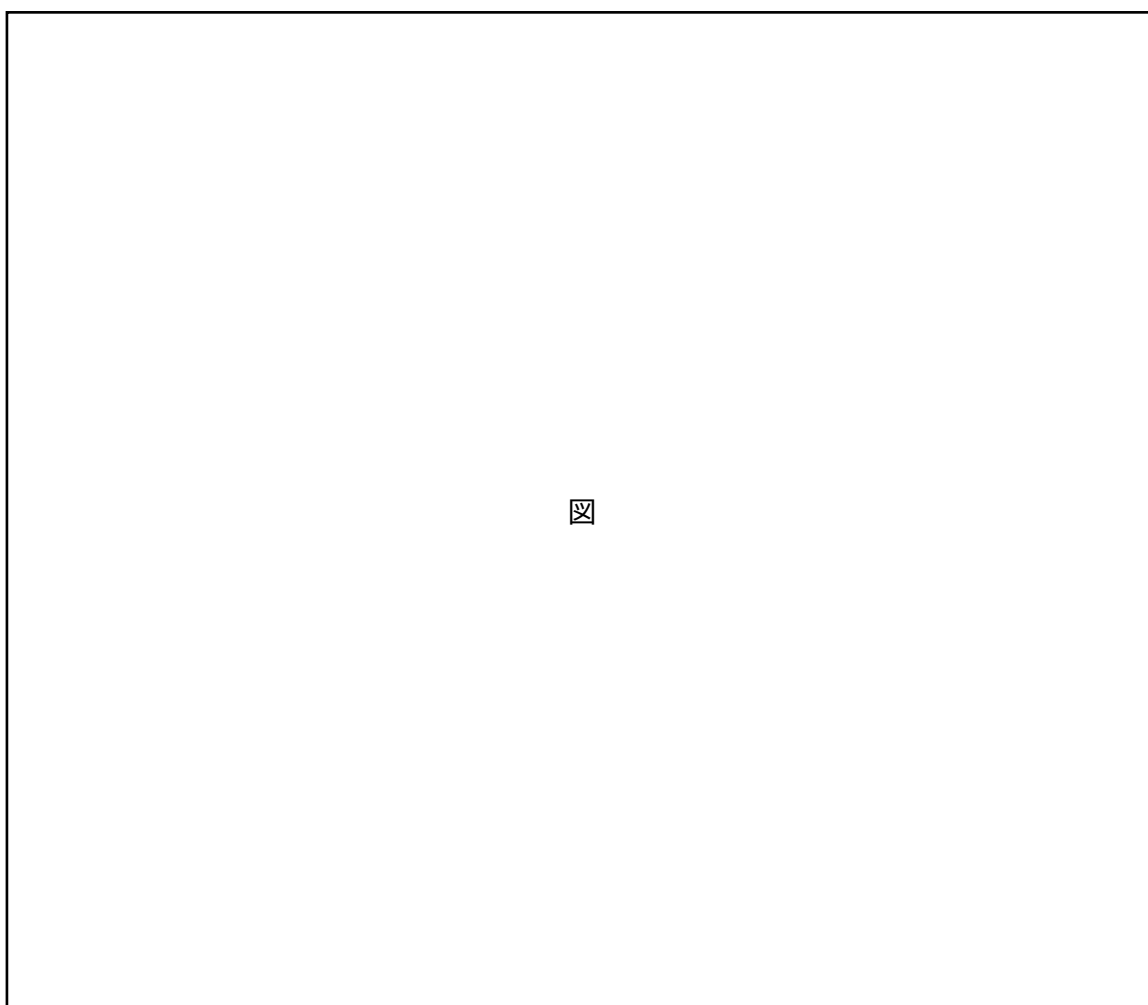
学習活動分野の施策(案)

2. 学習活動分野

(1) 学習活動とは

趣味や生きがい、キャリアアップのために、自由に選択して行う学習など、生涯にわたって行うあらゆるものを学習活動ととらえます。この中には学びで得た知識や経験を人や地域のために活かすことや、その場に参加することもあります。

【学習活動のイメージ図】



(2) 基本方針

①だれもが気軽に参加しやすい環境の構築

多様な媒体を活用したわかりやすい情報発信に努めるとともに、だれもが安心して参加できる環境を整えます。

②多様な学ぶ機会の提供と活動継続のための支援

大学などの地域資源を活かした取組を推進するとともに、学びを通じた交流やつながりを生み出し、継続的な学習活動につなげます。

③学びを活かせる環境づくりと地域への展開

学習の成果を発揮できる機会を充実させるとともに、地域の学びをささえる人材が育ち、地域で活躍することで、新たな学びや人とのつながりが生まれる地域づくりを推進します。

(3) 施策

学習活動分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
学習活動	① だれもが気軽に参加しやすい環境の構築	
		ア わかりやすく効果的な情報の発信
		イ ひとりでも参加しやすい環境の充実
		ウ 学びのきっかけづくり
	② 多様な学ぶ機会の提供と活動継続のための支援	
		ア 区民ニーズを踏まえた学習機会の拡充
		イ 地域資源を活かした学びの推進
		ウ 学びから生まれる交流とつながりづくり
	③ 学びを活かせる環境づくりと地域への展開	
		ア 学びの成果を発揮できる機会の充実
		イ 地域の学びをささえる人材の育成
		ウ 学びの人材から広がる地域づくり

①だれもが気軽に参加しやすい環境の構築

指標	現状値	目標値

ア わかりやすく効果的な情報の発信

学習活動への参加を促すためには、一人ひとりの年代や関心、ライフスタイルに応じて、必要な情報をわかりやすく届けることが重要です。

幅広い世代に届く効果的な情報発信に努めるとともに、学習相談等や図書館サービスの充実により、区民が自分にあった学びを見つけ、次につながる環境を整えます。

取組の例

■効果的な情報発信

これまで情報が届きにくかった層への周知を工夫します。また、区報・チラシやホームページ、SNSなどの特性を活かし、対象や目的に応じて使い分け、講座等の学習活動に関する情報をわかりやすく届けます。

■学習相談・紹介機能の充実

区民一人ひとりの関心や目的に応じた学びを見つけられるよう、講座や活動などの情報提供の手段を充実させます。何から始めればよいか迷う人にも、関連する学びや活動を案内し、参加につなげます。

■図書館サービスの充実

図書館を身近な学びの場として活用できるよう、レファレンスサービスの充実を図るとともに、関連する講座や地域の学びにつながる情報を提供し、区民の学びをささえます。

イ ひとりでも参加しやすい環境の充実

仕事や子育てなど、時間や場所の制約により学習活動が難しい人や、初めてひとりで参加することに不安を感じる人も、気軽に始められる環境を整えることが重要です。

参加方法も含め、学習機会の充実を図るとともに、初心者向け講座や体験型プログラムを通じて、ひとりでも安心して参加できる場を提供します。

取組の例

■ ICT を活用した学習支援、オンライン・ハイブリッド型学習の機会充実

ICT を活用した学習支援やオンライン、ハイブリッド型講座の充実により、時間や場所にとらわれない学べる機会を提供します。対面型を含め、講座内容やライフスタイル、ICT の利用状況に応じて、学び方を選べる環境づくりを進めます。

■ 初心者向け講座、体験型プログラムの充実

初めて参加する人や不安を感じる人も気軽に参加できるよう、初心者向け講座や体験型プログラムを充実させます。その参加から、次の講座やサークル活動などの継続的な学びにつながるよう工夫します。

ウ 学びのきっかけづくり

学習活動への関心を参加につなげるためには、興味を持った人が参加しやすく、身近な場所で気軽に学べる環境を整えることが重要です。

施設利用手続きの DX 化や利用環境の改善など、だれもが施設や講座等のイベントを利用しやすくする取組を進め、学びのきっかけを広げます。

取組の例

■効果的な学習参加促進イベント

講座やイベントなどの情報の取得から申込み、参加までの流れをわかりやすくするとともに、気軽に参加できる体験イベントなどを実施します。初めて参加する人が、次の学びを見つけやすい案内に努め、継続的な参加につなげます。

■利用者ニーズを踏まえた施設利便性の向上

施設利用手続きの DX 化や常に利用・案内方法を見直すとともに、年齢や利用状況に関わらず、施設を利用しやすい環境を整え、区民が身近な場所で学習活動に取り組めるようにします。

②多様な学ぶ機会の提供と活動継続のための支援

指標	現状値	目標値

ア 区民ニーズを踏まえた学習機会の拡充

区民一人ひとりの興味や関心、学ぶ目的が多様化する中、それぞれのニーズに応じ、選べる機会を充実させることが重要です。

趣味や教養を深める機会に加え、リカレント教育やリスキリングなど、仕事やキャリア、ライフステージの変化に応じた学びにも対応し、多様な学習ニーズに応えていきます。

取組の例

■講座内容の充実

大学などの教育機関と連携し、専門的な知識や最新の内容にふれる講座を実施します。入門的な内容から関心を深める内容まで、知的好奇心に応じて学び続けられる機会を提供します。

■リカレント教育・リスキリングの機会充実

仕事やキャリア、ライフステージの変化に応じて、必要となる知識やスキルを学び直す機会を提供し、幅広い世代の学び直しや新たな挑戦を支援します。

■趣味・教養講座の充実

区民の興味や関心に応じて、文化、芸術、健康、生活など幅広いテーマを学べる講座を実施します。初めて学ぶ人から、知識を深めたい人まで、それぞれの関心に応じた学びの機会を提供します。

イ 地域資源を活かした学びの推進

大学などの教育機関や地域活動団体が持つ専門的な知識、人材などの地域資源を学びに活かし、区民の学習機会の充実を図ります。

大学と地域をテーマやニーズでつなぎ、学生や地域住民が学習活動や地域活動に参加できる機会を広げることで、学びを通じた地域とのつながりを育みます。

取組の例

■大学など教育機関や地域活動団体との連携

区内大学などの教育機関や地域活動団体が持つ専門的な知識、人材、活動のノウハウを活かし、講座や地域活動などでの連携を進めます。大学と地域が互いのニーズや取組を知る意見交換などの機会も活用し、新たな学びや協働につなげます。

■教育機関への学習プログラムなどの提供

大学などの教育機関と連携し、区の特色や地域資源を活かした学習プログラムなどを提供します。学生が地域を知り、人とのつながりや実践的な学びを得ながら、自らの知識や発想を活かせる機会につなげます。

ウ 学びから生まれる交流とつながりづくり

学びをきっかけとして人と人がつながることは、学習を続ける力となり、地域での活動へと広がる可能性があります。参加者同士の関係や地域との交流を次の学びにつなげることが重要です。

サークル・団体活動への支援や学ぶ者同士のコミュニティ形成を促進するとともに、学びを通じた交流機会を創出します。

取組の例

■サークル・団体活動支援、コミュニティの形成促進

サークルや学習団体などの活動を支援するとともに、講座等を通じて知りあった者が交流を続け、自主的なサークルや活動へ移行できるよう、情報提供や活動の場とのつながりづくりを支援します。

■学びを通じた新たな交流機会の形成

世代や分野の垣根を越えて、多様な人が学びを通じて交流できる講座やイベントなどを実施します。学習活動を地域の活動へ展開し、新たなつながりや活動が生まれるきっかけをつくります。

③学びを活かせる環境づくりと地域への展開

指標	現状値	目標値

ア 学びの成果を発揮できる機会の充実

学んだことを振り返り、発表したり、人に伝えたりすることは、学習成果を実感し、次の学びへの意欲を高めることにつながります。学びで得た知識や技能を地域の社会活動につなげ、学びを活かす機会を広げることも重要です。成果を共有する機会と、学びを地域で生かせる機会の創出を充実させます。

取組の例

■ 学習成果を振り返り実感できる機会づくり

成果の発表や展示、イベント、仲間同士での共有などを通じて、学んだことや身につけた知識・技能を振り返り、成果を実感できる機会をつくります。人に伝えることも学習成果を感じる機会であり、その活力を、次の学びや活動につなげます。

■ 学習成果を活かせるボランティアの機会形成と参加へのマッチング支援

学んだ知識や技能、資格、経験を地域や社会で活かせるよう、ボランティアなどの活動機会を充実させます。学生を含む若い世代から豊富な経験を持つシニアまで、学びで得た知識や技能の活用を希望する者と地域団体・施設などのニーズをつなぐマッチングを支援します。

イ 地域の学びをささえる人材の育成

地域における学びを継続的・発展的にささえていくためには、学んだ知識や経験を活かし、自身の学びも深められる環境が重要です。

学習支援者や区民講師の育成・活用を進め、資格や専門性、経験を持つ人材の希望と地域における学びのニーズをつなぎ、学びから支援者、講師へと、本人が望む形で役割を広げられるよう支援します。

取組の例

■ 学習支援者・区民講師の育成と活用

地域の学びをささえる人材を育成するとともに、資格や専門的な知識、経験を持つ区民が、本人の希望に応じて講師や学習支援者などとして関われる機会を充実させます。登録・紹介などの仕組みも活用し、人材と活動の場をつなげます。

■ 学びから学習支援者・講師への移行支援

学びで得た知識や経験を次代へと還元し、自身の学びも深められるよう、学習支援者や講師として必要な知識・スキルを学ぶ機会を提供します。ボランティアなどの身近な役割から、自分にあった形で始め、続けられる機会を設けます。

ウ 学びの人材から広がる地域づくり

知識や経験を地域の活動に活かすことは、学びを深め、新たな人とつながる機会を生むとともに、学習成果を地域に還元することにもつながります。地域の特性や課題を踏まえた学習プログラムを提供するとともに、学習成果を地域活動に活かす機会につなげます。

取組の例

■ 地域学習プログラムの作成・提供

地域の歴史、文化、暮らしなどをテーマとした学習プログラムを、大学、地域団体、学校などと連携して作成し、提供します。他分野の取組や地域資源とつなぎ、地域について学び、関わる機会を広げます。

■ 学習成果やプロセスの地域課題解決への活用

学習を通じて得られた知識や成果だけでなく、学習の過程で生まれた気づきやアイデアを、自身が関心を持つ地域活動、教育などの場で実践できる機会をつくります。地域活動センターや図書館、町会・商店街などの身近な場とつなぎ、実践を通じて新たな学びや人とのつながりが生まれ、その成果が地域に還元される循環する環境を育てます。